

町民防災講座 「自然災害から身を守るために！」

新冠町では室蘭地方気象台との共催で「町民防災講座」を開催します。自然災害から身を守るためには、普段からどのような備えや身構えが必要なのか、自助・共助に役立つ知識をご説明します。当日は、入場無料です。事前の予約や申し込みも不要ですので、お気軽にお越しください。また、パネル展も併せて開催いたします。

「町民防災講座」

- ・期 日 9月19日(木)
- ・時 間 午後6時30分～午後8時
- ・場 所 新冠町レ・コード館 町民ホール
- ・入場料 無料
- ・講 演 ①「新冠町の豪雨災害と防災気象情報の利用」
②「地震と津波から命を守るために」

「パネル展」

- ・期 間 9月9日(月)～9月19日(木)
- ・場 所 新冠町レ・コード館 ロビー

●問い合わせ先

総務企画課まちづくりグループ防災係 ☎0146・47・2498

赤十字社災害救援車 「博愛号」の配置！

日本赤十字社北海道支部より、地域で発生する各種災害や事故などの緊急を要する事態に、迅速、的確な赤十字災害救護活動を実施し、地域における赤十字事業を推進するため、8月1日に赤十字社災害救援車「博愛号」が配置されました。



役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

風しん予防接種費用を一部助成

新冠町では平成25年7月1日より、風しん予防接種費用を一部助成しています。

風しんは、免疫のない女性が妊娠初期に罹患すると、胎児に心奇形や白内障、難聴などの障がいが出る「先天性風しん症候群」になる可能性があります。

現在、風しんの報告数は少しずつ減少してきていますが、まだ流行はみられています。将来、妊娠を希望される女性の方はもちろんのこと、男性もこの機会に予防接種を受けることをお勧めいたします。

1. 助成対象者

- ①新冠町に住居登録のある方
- ②接種日時時点で20歳以上45歳以下の女性
※現在、妊娠中の方はワクチンを接種することは出来ません。
※20歳未満または45歳以上の方で婚姻しており、妊娠を予定または希望している方については、要相談となります。
- ③妊娠している女性の夫（胎児の父親）



2. 助成額

- ①麻しん風しん混合ワクチン 4,000円
- ②風しん単独ワクチン 2,000円
※風しん単独ワクチンは供給が少ないため、原則麻しん風しん混合ワクチンでの接種となります。

3. 持ち物

- ・接種する方の住所、氏名、生年月日がわかるもの（保険証など）
- ・男性の方は、上記に加え、胎児の母子健康手帳

4. 接種医療機関

①下記の医療機関では、町の助成額を差し引いた金額が請求されます。

接種可能医療機関	麻しん・風しん	風しん単独	電話番号
河野産婦人科医院	○	○	0146・43・2181
山田クリニック	○	○	0146・43・0008
駒木クリニック	○	×	0146・45・0123

②下記の医療機関で接種される場合は、接種後に申請が必要です。

接種可能医療機関	麻しん・風しん	風しん単独	電話番号
静仁会静内病院	○	○	0146・42・0701

接種終了後、必要書類等を持参の上、保健福祉課保健福祉グループ健康推進係へ助成申請を行ってください。助成対象であることを確認の上、指定口座に振り込みます。

手続きに必要な書類：領収書・接種済証・印鑑・通帳（振込先口座が確認できるもの）

5. お問い合わせ先

保健福祉課保健福祉グループ健康推進係 電話0146・47・2113（直通）

内閣府「一日前プロジェクト」エピソード No. 3

お財布、保険証、おくすり手帳 ～いつものバッグが身の助けに～

地震が起きたとき、すぐに「逃げなければ」と思いました。避難場所は指定されていたので迷いませんでした。それでも、避難するとき私が持っていたのは、いつも使っている小さなバッグだけでした。

家を飛び出すときに、なぜか「そうだ！免許証！」とだけはひらめいて、このバッグと一緒にあわてて持ち出したのですが、ほかのことは何一つ考えられませんでした。本当に着の身着のまま、夢中だったのです。

避難後、家はまるごと津波に流されてしまいましたから、手元には、このバッグ以外残りませんでした。ただ、この中にお財布、保険証、診察券、おくすり手帳などが入れっぱなしになっていたの

が幸いでした。薬自体は持ち出せませんでした。後から病院に行って、処方してもらうことができました。保険証や免許証は身分証明書代わりにとなり、後々本当に役に立ちました。大事なものはひとまとめにしておく、いざというときにさっと持ち出せると思います。

欲を言えば、お財布の中にもう少し多めに現金を入れておけばよかったかも。

ただし、いったん逃げたら、お金をとりに家に戻ったりしては絶対にいけません。それで亡くなった人がたくさんいるので。



「一日前プロジェクト」とは、地震や水害・雪害などの自然災害で被災した方々や災害対応の経験をもつ方から、色々なお話を聞かせていただき、小さなエピソード（物語）として取りまとめる活動です。

こうしたエピソードを取りまとめることで、災害をイメージし、自分のこととして感じてもらうことにより、明日起きるかもしれない災害に、今日（一日前）から備えていただくことを目的としています。

●問い合わせ先 総務企画課まちづくりグループ防災係 ☎0146・47・2498